とみさわ コミュニティニュース

令和８年１１月２５日　第５号
富沢地域間連携推進協議会
会長　佐藤　晃章
事務局 井上・大場
富沢地区公民館内　TEL 45-2527

県外視察研修　福島県石川町の複合施設・組織に学ぶ
～地域コミュニティ拠点施設のあり方～

富沢小や保育所が統合による閉校・閉所となり、富沢地区公民館も老朽化した現況のなかで、令和５年度に、旧富沢保育所活用整備検討委員会が発足し、ワークショップや視察研修を積み重ねて「富沢地区公民館の移転及び地域コミュニティ拠点施設の整備」を二度にわたって町に要望してきた経緯があります。要望を受けた町は、その候補であった保育所にアスベストの使用が判明し、保育所施設を改修しての移転計画を断念し、次に体育館を残しつつ旧富沢小校舎を解体し、その跡地に拠点施設をという方向性は示していました。その後、二年以上が経過していますが、ようやく、９年度に解体設計、１０年度に解体工事との見通しが、９月２４日の説明会で示されました。現在、拠点施設の整備の見通しは立たないものの、ようやく「富沢地区公民館の移転及び地域コミュニティ拠点施設の整備」の第一歩である解体のメドが立ったことをふまえ、もう一度機運を盛り上げ、来るべき時期に備えて学んでおこうと、今年度の研修事業として、１０月２７日（火）に１１名が福島県石川町の文教福祉複合施設「モトガッコ」と「中谷自治センター・中谷地区自治協議会」にて、施設設備・機能と管理運営、運用等を学んできました。

文教福祉複合施設「モトガッコ」

その名の通り元小学校をリニューアルしたもので、「集い」「遊び」「学ぶ」をコンセプトとして、図書館、公民館、子育て支援施設、学童クラブなどの多くの機能を備えた複合施設で、有力なモデルとなり得る施設でした。





町内に５つある自治センターの一つ「中谷自治センター」







人口約２,６００人規模のエリアを担っていて、地区公民館ではなく多機能なコミュニティセンターで、その活動や運営を任されているのが中谷地区自治協議会でした。４名の事務局体制で、地域課題に対応した自治協議会の５部会の活動・事業が組まれ、また、町交付金を中心に予算の裏付けもしっかりあり、その額はうらやましい限りでした。ここまで充実した活動ができるようになるまでには、足かけ１０年の歳月がかかっているとの苦労話もセンター長さんからお伺いすることができました。

秋のモルック交流会＆モグモグ食堂 part2 in 赤倉

今年度一回目のモルック交流会は７月に盛会裏に開催されましたが、予定の昼食交流会があいにくの高温のために取りやめとなってしまったことから、二回目となる秋のモルック交流会が地域食堂「モグモグ食堂 part２」とのコラボで、１１月７日（土）に旧赤倉小体育館と赤倉温泉公民館で開催されました。交流会には、５グループ３６名の参加があり、和気あいあいの雰囲気の中でモルックを楽しみました。





「モグモグ食堂 part２」の料理教室には、５名の子どもたちが参加し、新田松葉会と赤倉サロンの有志の方々１１名の協力・指導をいただきながら、煮込みハンバーグ・ブロッコリーサラダ・大学いもを調理し、モグモグ食堂に参加してくれたモルック交流会参加者との食事を楽しみました。

お祭り訪問［山刀伐峠地蔵尊・草分大明神様］

「第４号」で富沢地区内の集落の秋祭りを取り上げましたが、今回は、山刀伐峠の頂上にある地蔵尊祭例と、明神の草分大明神神社祭礼を簡単にレポートいたします。

山刀伐峠子宝地蔵尊祭例は、年二回（６月と１０月の第４日曜）、一刎と赤倉の両集落そして尾花沢市市野々集落の有志でつくる「守る会」が行っているもので、１０月２４日（土）は「守る会」の方々がそれぞれにお供え物を持参し、手を合わせていました。偶然通りかかったトレッキングの方々にもお供え物が振舞われていました。

また、１１月８日（日）には、小国郷開拓の祖と崇められる田沢内匠介を祀る明神の草分大明神神社の祭りが行われました。



